

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-05-01		
施設名	荒川区役所分庁舎				
所在地	荒川区荒川二丁目25番3号				
部課名	区民生活部防災課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	1996年			
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	1997年		区職員	その他	
供用開始年月日	平成10年6月11日	職員数	5	0	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	階層	地上4階、地下1階		
面積	敷地面積	521.07㎡			
	延床面積	1382.5㎡			
設置目的・経緯	区民の防災に関する知識の習得及び防災意識の高揚を図るとともに、災害発生時の災害応急活動の拠点とする。				
関連部署	生活安全課、区民課統計係及び選挙管理委員会事務局				
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	1階：防災課分室・資機材保管場所等 2階：生活安全課執務室・情報管理室・無線放送室 3階：区民課統計係執務室・選挙管理委員会事務局執務室（以下「選管執務室」という。） 4階：研修室・無線機械室 地階：電気室・機械室・倉庫					
対象者	区職員					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土・日・祝日・休日・年末年始（12月29日～1月3日）				
施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込み）
	開庁日数	244	244	240	243	241
	電力使用量 (kwh)	172,825	183,089	166,895	149,228	164,151
	ガス使用量 (m³)	214	221	117	68	75
	水道使用量 (m³)	675	662	559	527	580
	二酸化炭素 (CO2) 排出量 (t)	84	87	78	68	75
	ごみ排出量・可燃 (kg)	1,727	1,796	4,999	3,540	3,894
	ごみ排出量・不燃 (kg)	257	205	282	0	34
に指定 等 管理 費						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給与関係費	140,915	6,369	▲ 134,546	地方税等	0	0	0
物件費	20,467	15,971	▲ 4,496	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	37,295	3,300	▲ 33,995	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	185	187	2	
減価償却費	14,799	14,799	0	その他	29	21	▲ 8	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	214	208	▲ 6	
賞与・退職給与引当金繰入額	7,648	2,758	▲ 4,890	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 220,910	▲ 42,989	177,921	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	221,124	43,197	▲ 177,927	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 220,910	▲ 42,989	177,921	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 220,910	▲ 42,989	177,921	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産	0	21	21	流動負債	5,934	378	▲ 5,556
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	945,714	947,257	1,543	賞与引当金	5,934	378	▲ 5,556
	土地	542,069	542,069	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	720,794	736,753	15,959	固定負債	27,914	4,231	▲ 23,683
	建物減価償却累計額	▲ 317,149	▲ 331,565	▲ 14,416	特別区債	0	0	0
	工作物等	16,011	16,011	0	退職給与引当金	27,914	4,231	▲ 23,683
	工作物等減価償却累計額	▲ 16,011	▲ 16,011	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	33,848	4,609	▲ 29,239	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	915,665	946,085	30,420	
その他の固定資産	3,799	3,416	▲ 383	正味財産の部合計	915,665	946,085	30,420	
資産の部合計	949,513	950,694	1,181	負債及び正味財産の部合計	949,513	950,694	1,181	
備考	・行政コスト計算書の給与関係費の減は、防災課執務室の移転に伴う人件費の算出方法の見直しによるものであり、維持補修費の減は、元年度に無停電電源装置の取替を行ったことによるものである。一方、行政収入は分庁舎屋上に設置している事業者アンテナの使用料等である。・貸借対照表の建物費用の増は、選管執務室の移転に伴う改修工事によるものである。							

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	41	43	45	46.2	
	1㎡当たりのコスト(円)	105,570	135,984	159,945	31,246	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	—	目標値	—	—	—	—
		実績値	—	—	—	—
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 令和元年11月1日付で公の施設(啓発展示コーナー)としての定めを廃止した。) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	荒川区災害対策本部の第二拠点					
現状・課題	○防災課執務室が本庁舎に移転した後も、分庁舎が災害時の第二拠点として円滑に災害対応に当たれるよう、分庁舎に引き続き備えている防災情報機器の維持管理を適切に行うとともに、必要に応じて経年劣化に対応するため機器の更新を進めていく必要がある。 ○庁舎内の一部の設備について経年劣化が進んでいることから、建物設備の更新を実施する必要がある。 ○防災課執務室が本庁舎に移転したことに伴い、分庁舎の建物・設備全般の維持管理を生活安全課とともに行うことになったため、両課が連携して適切に管理していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○分庁舎が災害時の第二拠点として円滑に災害対応に当たれるよう、防災情報機器や建物設備の維持管理及び更新を計画的に進めていく。 ○分庁舎の建物・設備全般の維持管理を円滑に進めていくため、防災課と生活安全課で密に連携を図るとともに、必要に応じて関連部署との連絡調整を細やかに進行。					
議会、利用者等からの意見	平成25年 決特「非常時の電源確保について」 平成30年 決特「非常時の電源確保について」					

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-05-02		
施設名	防災広場				
所在地	荒川六丁目55番他18箇所				
部課名	区民生活部防災課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和57年~			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和57年9月1日~		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和57年9月1日~		職員数	-	-
構造	-		階層	-	
面積	敷地面積			8,404	m <sup>2</sup>
	延床面積			-	m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	災害時に地域の防災活動の拠点や平常時の地域住民の防災訓練及び日常の交流の場として活用する目的で設置				
関連部署	-				
根拠法令等 設置条例	荒川区防災広場の設置等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時は地域の防災活動の拠点として利用</li> <li>・平常時は地域住民の防災訓練および日常の交流の場として活用</li> </ul>				
対象者	区民				
運営時間等	運営時間	-			
	休日	-			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	防災広場整備進捗率(%)		53	53	53	53
※地域危険度5又は4の町丁目内の広場16/5または4の町丁目30						
防災広場整備数(か所)		16	16	16	16	16
※地域危険度4又は5の町丁目内の広場数						
に指定 等管理 費用						

備考	
----	--

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	18,803	16,656	▲ 2,147	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	793	3,863	3,070	都支出金	0	711	711	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	463	477	14	
減価償却費	8,181	6,090	▲ 2,091	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	463	1,188	725	
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 27,314	▲ 28,505	▲ 1,191	
その他行政費用	0	3,084	3,084	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	27,777	29,693	1,916	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 27,314	▲ 28,505	▲ 1,191	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 27,314	▲ 28,505	▲ 1,191	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
有形固定資産	4,807,287	4,801,197	▲ 6,090	賞与引当金	0	0	0	
土地	4,742,170	4,742,170	0	その他の流動負債	0	0	0	
建物	0	0	0	固定負債	0	0	0	
建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
工作物等	209,437	209,437	0	退職給与引当金	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 144,321	▲ 150,411	▲ 6,090	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	4,807,287	4,801,197	▲ 6,090	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	4,807,287	4,801,197	▲ 6,090	
資産の部合計	4,807,287	4,801,197	▲ 6,090	負債及び正味財産の部合計	4,807,287	4,801,197	▲ 6,090	

備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーラー街灯バッテリー修繕等、広場の老朽化に伴う維持補修費が増加している。</li> <li>・行政収入は、広場整備に関わる補助金や民間事業者の電柱・アンテナ設置に伴う使用料である。</li> </ul>
----	--

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	61	65.0	69	71.8	
	管理面積1㎡当たりコスト(円)	5,128	5,128	2,016	3,305	
	施設維持補修費比率(%)	1	1	1	1.2	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	防災広場整備進捗率(%)	目標値 63 実績値 53	63 53	63 53	63 53	63 53
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	防災訓練の実施場所、災害時の防災拠点					
現状・課題	○施設の老朽化により修繕を必要とする箇所が少なくない。 ○施設の利用について近隣の理解が不可欠である。					
課題に対する現時点での考え	○緊急度などを考慮しつつ、計画的に修繕・工事することで対応していく。 ○近隣からの意見・苦情について、丁寧に対応していく。					
議会、利用者等からの意見	平成28年 予特「かまどベンチの設置箇所数について」 予特「トイレの設置箇所数及び洋式トイレの設置箇所数」 平成29年 予特「樹木の剪定の実施時期」 平成30年 予特「防災広場建設用地の確保について」					

